

しだれ桜



十二中の校門をくぐると、卒業生や教職員が心を込めて育ててきたしだれ桜が、十二中を静かに見守ってくれています。春には見事に咲き誇り、十二中学生を応援してくれています。
校長 道上 博行



令和6年度(2024年度)がスタート!

～「自治の力と仲間づくり」とともに始まる新たな学校の取組み～

4月5日(金)に新入生(52期生)112人を迎え、第52回入学式が行われました。桜が満開の中での入学式となり、新たな門出を祝いました。

入学式では、新入生に対し、昨年、創立50周年を迎えた新たな学校づくりは先生や大人が担うのではなく、生徒一人ひとりが主役で、その力を結集し創り上げること、「自治の力と仲間づくり」がキーワードであり、「自治の力」とは、「自ら考え、正しく判断し、自ら社会を治める『力』」であることを伝えるとともに

に、学校生活を送るうえで大切にしてほしいこととして、「仲間に対し感動すること」「相手への想像力を心がけること」「つらい思いや悩みを一人で抱え込まず、命を大切にすること」の3点についてお話ししました。新入生のみならず、十二中学生の一員として、これから始まる3年間をしっかりと歩んでほしいと願っています。



みごとに咲いた「しだれ桜」



4月8日(月)には、50期生から52期生が揃い始業式が行われ、いよいよ令和6年度(2024年度)が始まりました。あらためて全校生徒には今後の学校づくりに必要な「自治の力と仲間づくり」について伝えましたが、新たに、次代に向けた本校の「めざす生徒像」と令和6年度(2024年度)の学校教育目標について披露しました。

私たち教職員は、創立50周年を機に、十二中学生が社会で活躍し自己実現を達成するためには、今後の学校教育活動において、「めざす生徒像」として、どのような生徒を育てようとするのか、そのために、日々の学習活動などにおいて、どこを主眼に取り組んで行くのかなど、明確な「学校教育目標」を策定することが必要ではないか、と考えました。一昨年から約2年間かけて校内研修や公開研究授業を経て校内で検討してきた結果、学校全体の取組みを示す「ランドデザイン」を策定するとともに、授業スタンダードとして「学校中に十二か条(がっこうじゅうにじゅうにかじょう)を掲げました。本校における今後の教育活動は、ランドデザインと授業スタンダードに基づき展開していきます。今年度は取組みの端緒ですので、今後は子どもたちの学習活動や行事への取組みの様子や、保護者、地域のみなさま方のご意見を参考に、毎年ブラッシュアップしていきたいと考えています。保護者のみなさまには、今後とも本校の教育活動にご理解ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



【学校教育方針】(学校創立以来不変の方針)

～かがやく学校の創造をめざして～

人間尊重の精神を基盤として、「知・徳・体」の調和をはかり、人間性豊かな生徒を育成する

【めざす生徒像】(中学3年卒業時の15歳の姿)

「自ら学び、自ら考え、自ら判断し、仲間とともに思いやりのある社会をつくる生徒」



【令和6年度(2024年度)学校教育目標】



「つながる力」「まなぶ力」「つくる力」を育み、「自治の力」を育成する

【生徒につけさせたい3つの力】(日々の教育活動における着眼点)



- ①つながる力 …… 自分の考えを相手に伝え、表現する力の育成
- ②まなぶ力 …… 自ら考え、判断し、仲間とともに課題解決に向かう力育成
- ③つくる力 …… 自分の将来を見つめ、よりよい社会をつくる力の育成

【十二中授業スタンダード】(日々の授業で大切にする実践)



じゅう に
～学校中に12ヶ条～

十二中授業スタンダード

『まなぶ』
自ら判断し考えるために情報を入手

『つくる』
自らの未来を創造するために情報を整理

『つながる』
自らの考えを伝えるために情報を表現

(ルーティン項目)

・話し手に体を向けて聞く
・反応しながら聞く(うなづく、相づちなど)
・興味を持って聞く
・最後まで静かに聞く
・大切な内容はメモをとる
・わからないことを一度は自分で調べる

(トレーニング項目)

・自分の考えと比べながら聞く
・意見と事実を区別して聞く
・自分の意思をもって正確に知ろうとする
・話し手・書き手の立場や思いを考えながら聞く・読む
・聞いたり読んだ後、質問したり意見を言ったりする
・図や表から分かることを読み取る

(トレーニング項目)

・理由を考える 「～だからです」「なぜなら～」
・具体的に考える 「例えば～」「～という経験があります」
・比較する 「～と同じように」「～と比べると」
・仮定する 「もし～だとしたら」「もし～ではなかったら」「～の場合」
・順序だてて整理する 「まずは」「つぎに」「さいごに」
・様々な角度から物事を見る 「一方で」「言いかえたら」
・相手の主張に意見をもつ 「～に賛成です」「～に反対です」「～はおもしろいね」
・目的を明確にする (何のために考えているか)
・分類する (同じところ、似ているところ、異なるところを考える)
・変化をとらえる (何が違うのか、なぜ違うのか、違ったらどうなるのか)
・関連を考える (結果や原因を考えてつなげていく)
・自分の意思をもって深く考える (なぜこうなるのだろうか⇒調べてみよう、聞いてみよう)

(ルーティン項目)

・場面にあった声の大きさ・言葉遣いで話す
・相手の目を見て話す
・身振りや手振りを使って伝える
・丁寧な字で書く
・場面に合った言葉遣いで書く

(トレーニング項目)

・順序だてて話す
・聞き手の反応やつぶやき、表情を読み取って話す
・意見を言う時は理由も伝える
・相手に合わせて伝え方を工夫することができる
・他の人の発言や発表を引用する
・「いつ/だれが/どこで/何を/どうして/どのように」を明確にする



十二中は今年度より、「コミュニティスクール」として位置付けられます ～学校運営協議会の設置～

豊中市では、学校が保護者や地域住民等との信頼関係を深め、より学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むことができるよう、今年度全小中学校に「学校運営協議会」を設置し、各小中学校をコミュニティスクールとして位置づけます。十二中でも、これまでは学校評議員会を設置し評議員のみなさまから学校の教育活動について様々なご意見をいただいていたましたが、今年度より学校評議員会を学校運営協議会に移行させ、取組みを進めます。協議会は、次の目的に沿って、3つの役割を担います。協議会は年間3回程度開催予定です。

【役割】

- ①校長が作成する学校運営に関する基本的な方針の承認
 - ②学校運営についての意見を申し出ることができる
 - ③職員の採用その他の任用に関する意見を申し出ることができる。
- (特定の職員の採用その他の任用に関する事項はこの限りではない)

